



グーグルが7年ぶり首位 コクヨ急上昇、アマゾンがトップ 10 に初登場 企業ブランド調査「ブランド戦略サーベイ 2018」発売

2018年9月19日
株式会社日経リサーチ

株式会社日経リサーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:三宅誠一)は19日、主要企業600社のブランド力を測定・分析する「ブランド戦略サーベイ」の2018年版レポートを発売しました。ブランド力の総合ランキングは昨年3位のグーグルが2011年以来、7年ぶりで首位に返り咲きました。2位はヤマト運輸、3位はソニーで、昨年1位の日本マイクロソフトは4位に後退しました。また、トップテンではコクヨが昨年の17位から8位に急上昇したほか、アマゾンが10位に初登場し、“GAFA”4社のうち3社がトップテンに揃いました。

「ブランド戦略サーベイ」は企業のブランド力をコンシューマー(消費者)とビジネスパーソンという2つの視点から評価する年1回のインターネット調査です。2003年にスタートし、今年で16回目になります。今回は2018年6月~7月に実施しました。

ブランド力は「愛着度(ビジネスパーソンは企業魅力度)」、「自分必要度(ビジネスパーソンはビジネス有用度)」、「プレミアム(ブランドプレミアム・価格プレミアム)」、「独自性」、「推奨意向」という5つの指標に基づいて算出した「企業ブランド知覚指数(PQ=Perception Quotient)」によって評価しています。

総合ランキングは消費者とビジネスパーソン両方の「企業ブランド PQ」のスコアを統合し、算出した「総合 PQ」によるもので、ランキングは9月19日付の日本経済新聞朝刊13面、日経産業新聞15面、日経MJ(流通新聞)11面でも紹介されています。

■「ブランド戦略サーベイ 2018」総合ランキングのハイライト

●グーグルが昨年の3位から首位に浮上。2011年以来、7年振りの返り咲き

ビジネスパーソンからも2位の高評価。「ビジネス有用度」と「独自性」の指標では1位を獲得。

●トップテンにアマゾン初登場。アップルジャパンも6位で「GAFA」4社中3社がランクイン

アマゾンはビジネスパーソンからの評価上昇が寄与。

●ヤマト運輸が昨年の5位から上昇して2位。調査後に不祥事発覚で来年は？

昨年働き方改革と運賃値上げを断行したが、3ランクアップ。不祥事発覚の影響は次回調査に？

●昨年首位の日本マイクロソフトは4位に後退、2位のソニーも3位にダウン

マイクロソフトは消費者の順位が急落。ビジネスパーソンもスコア下げたが順位は5年連続1位。

●コクヨが昨年17位から8位に急上昇。2013年以来のトップテン入り果たす

ビジネスパーソンからの評価は3位。「独自性」や「推奨意向」の順位を上げ、スコアも大幅アップ



■「ブランド戦略サーベイ」の特長は

- ブランドの総合力、浸透レベル、企業活動の成果をそれぞれ測定、相互の関係性を把握することで、「ブランド価値」の構造を「見える化」します。
- 競合企業とのブランド力比較で、自社の総合的なブランドポジションが把握できます。
- 時系列データを追うことで、ブランドが浸透していく状況や価値の変遷が確認できます。
- 多彩な評価項目を様々な切り口で分析し、自社ブランドがどんな層に受容されているか分かります。
- ご自分の PC で自由に表やグラフを出力できる分析用ツールをご提供します(一部商品)
- ベイジアンネットワーク、バリューチェーンマップなど多彩な分析アプローチをご用意しています(一部商品)。

■ラインナップ:用途や分析レベルにより 5 種類をご用意しました。ニーズに応じてお選びください。

■価格:100,000 円(本体価格)より

企業のブランド価値の構造と、過去から現在までの変遷を「見える化」し、ブランド戦略をサポートする「ブランド戦略サーベイ 2018」をぜひご活用ください。

▼詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.nikkei-r.co.jp/service/branding/co-brand/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 **日経リサーチ**

営業本部営業企画部 担当:渡辺、江川

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-2-1

TEL:0120-980-181 (平日 9:00~17:30)

FAX:03-5296-5110

弊社 HP お問い合わせフォーム

https://www.nikkei-r.co.jp/contact_cobrand/